

金岡新聞

4月号

日本ロマン飛行 (20)

―兵庫県の芝桜の名所―

・芝桜園 花のじゅうたん

兵庫県三田市永沢寺の山里にある、全国でも数少ない芝桜専門庭園は、地面を全く見せない程咲き詰めることから「花のじゅうたん」と名付けられた。4月中旬から5月中旬までのシーズン中は、全国から集めた約50品種・約1億株もの芝桜が緩やかな丘の畑一杯に咲き誇り、圧巻の風景が見られる。ペット同伴可、さらに飲食物の持ち込みもOKなので、ピクニックのカーペットのような芝桜の大群落の中でピクニックを楽しめる。



写真撮影に人気のスポット
園内では花の苗も販売している

4月生まれの有名人名

- 4/1 桑田真澄 47歳
- 4/2 岡本綾子 64歳
- 4/3 大泉洋 42歳
- 高橋由伸 40歳
- 4/6 乙武洋匡 39歳
- 4/8 DAIGO 37歳
- 4/10 木村佳乃 39歳
- 4/14 桜田淳子 57歳
- 4/18 小宮悦子 57歳
- 4/22 中田翔 26歳
- 4/23 加藤綾子 30歳
- 4/29 千代大海 39歳

・ヤマサ蒲鉾「芝桜の小道」
ヤマサ蒲鉾の本社工場から遊歩道を進んだ先に、見ごろの時期のみオープンする、知る人ぞ知る隠れた芝桜の名所がある。山裾に広がるようにして咲き誇る風景は必見。数千ものロウソクが芝桜を照らし、白やピンク、赤、紫のさまざまな品種の芝桜が闇夜に映える、夜間公開「夜芝桜鑑賞会」も人気。今年は、4月28・29日に開催予定。



色々な催しも開催される

山佐産業(株)
瀬戸内プレカット
金岡事業所

岡山市東区金岡東町3-5-70

TEL 086-948-2053

FAX 086-948-0108

最高時速50^{キロ}で泳ぐ

『初カツオ』

初カツオは太平洋を暖かい南から北へ向かって進む途中で、脂ののりが少なく比較的あっさりとした味で、逆に、戻りカツオは、北の豊かなプランクトンを沢山食べて肥えて脂がのっている。そういうことからよく、初カツオならタタキに、戻りカツオは刺身でと言われる。

高知土佐と言えはカツオのタタキで有名だが、その由来は諸説ある。一つは、その昔土佐藩主・山内一豊が警沢を禁ずると共に食中毒の防止を理由として鯉の生食を禁じた時、漁師が表面だけ焼いて、焼き魚と称して食べたというもの。また別の説では、カツオにはよく米粒のような寄生虫が付いており、これを嫌がったためというものなどがある。ちなみにこの寄生虫は食べても人体に影響は無いそう。

捕獲されると次第に鮮やかに浮かびあがってくる縞模様は、鮮度が低下すると共にぼやけてくる為、縞模様がはっきりしているものを選ぶと良い。
カツオは魚類の中でも高タンパクで、ビタミン類も豊富だが、特に多いのはB類とD類である。また、血中コレステロール値を低下させ、脳を活性化する働きを持つDHA、血液の流れをよくするEPAが多く含まれる。他にも、肝機能を高める働きがある、タウリンも豊富に含まれている。

春は新玉ねぎと一緒に

おなじみはポン酢、塩 韓国風にコチジャンと和えても美味!



『加豆乎』『勝魚』『古固魚』『嘉酥魚』『堅魚』
『松魚』『鯉』全て『カツオ』と読む

貧血や、シミ・クスミ予防にもすぐれ、
ダイエット食としても注目されている

